

田中朝代



山田五十鈴



京マチ子



山本富士子

藤純子



原節子

スチル写真でみる  
日本の映画女優  
Japanese Film Actress  
from the NFC still photo collection

無声映画時代を中心に

第1期 2007年4月24日(火) - 6月17日(日)

トーキーと戦争の時代を中心に

第2期 6月19日(火) - 8月19日(日)

戦後の黄金時代を中心に

第3期 8月21日(火) - 10月21日(日)

\*時代順に3期に分けての開催となります。\*月曜日および2007年7月23日(月) - 7月26日(木)は休室です。

東京国立近代美術館フィルムセンター展示室(7階)

開室時間：午前11時 - 午後6時30分(入場は午後6時まで)

料金：一般200円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/高校生40円(20円)/中学生以下・障害者(付添者は原則1名まで)は無料

\*料金は常設の「展覧会 映画遺産」の入場料を含みます。\*( )内は20名以上の団体料金です。\*学生、シニア(65歳以上)、障害者の方はそれぞれ入室の際、証明できるものをご提示ください。\*フィルムセンターの企画上映をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

無料観覧日：4月29日(昭和の日)、5月18日(国際博物館の日)

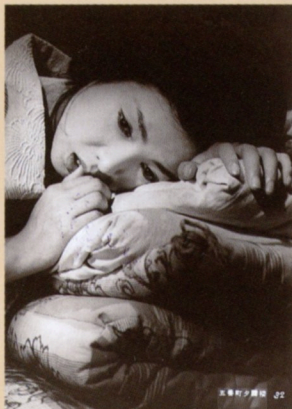
主催：東京国立近代美術館フィルムセンター 東京国立近代美術館ホームページ：<http://www.momat.go.jp/>

NFC  
National Film Center  
The National Museum of Modern Art, Tokyo



岸恵子

李香蘭(山口淑子)



佐久間良子

# スチル写真でみる 日本の映画女優 Japanese Film Actress

from the NFC still photo collection



高峰秀子

日本人の手で撮影された最初の映画が公開されたのは1899(明治32)年。また、1908(明治41)年以降は撮影所の建設もはじまり劇映画の量産がいよいよ本格化しますが、日本映画に職業的な映画女優が現れるのは、それからさらに10年後のことでした。それまでの歌舞伎や新派出身の女形たちにかわり、映画女優第一号といわれる「生の輝き」(1919年)の花柳はるみや「島の女」(1920年)の川田芳子、「寒椿」(1921年)の水谷八重子などが銀幕デビューを飾るのは、いずれも1920年前後のことでした。そして、その背景となったのは国活や大活、松竹といった新興プロダクションの誕生や、欧米映画に範を仰いだ進歩的な映画人による映画劇の革新運動でした。女優は、新しい時代の映画を象徴する存在だったともいえます。本展では、無声映画時代からトーキー時代、戦後の黄金期にかけて日本映画を彩った女優たちの変遷を、フィルムセンター所蔵のスチル写真やプロマイドなどでたどります。



香川京子



吉永小百合



東京国立近代美術館フィルムセンター  
**National Film Center**  
The National Museum of Modern Art, Tokyo



〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6  
お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600  
東京国立近代美術館ホームページ <http://www.momat.go.jp/>

▼ 交通  
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

